

# 2024年度 淑徳大学 大学院看護学研究科 科目等履修生用開講科目一覧

【前学期】

上限 年間2科目4単位

| No.  | 科目名  | 開講曜日・時間                   | 開講時期 | 単位 | 担当教員                                       |
|------|--|---------------------------|------|----|--|
| 1    | 公衆衛生看護学特論  | (月曜日) 7限<br>19:25 ~ 20:55 | 前学期  | 2  | 渡邊 多恵子                                     |
| 授業内容 | 公衆衛生看護の対象である「地域」を捉えるために必要な質的研究、量的研究、分析の基本について、一部演習を加えながら解説する。  |                           |      |    |  |
| 2    | 成人看護学特論  | (火曜日) 6限<br>17:50 ~ 19:20 | 前学期  | 2  | 佐佐木 智絵<br>井上 奈穂美                           |
| 授業内容 | 成人・初老期を対象者とした臨床療養の場において看護実践するにあたって、看護職が多職種連携の中でケアをおこなっていくために、エビデンスを構築していくための理論や方法についての理解を深める。成人期に特有な健康問題を有する対象者や家族の予防的ケア確立に向けて、また健康問題を抱えて生活していく対象者のためのケア介入を構築していくための看護援助方法について探求する。  |                           |      |    |  |
| 3    | 小児看護学特論  | (火曜日) 7限<br>19:25 ~ 20:55 | 前学期  | 2  | 小川 純子                                      |
| 授業内容 | 1) 子どもの健康的な成長発達及び子どもと家族を取り巻く環境との相互作用を理解するための主要な理論として、発達理論、家族看護理論、愛着、セルフケア、ストレスコーピング、不確かさ、障害受容、ソーシャルサポート、レジリエンスについて学ぶ。<br>2) 様々な状況にある子どもと家族の理解と援助の授業においては、慢性疾患の子ども、急性疾患の子ども、先天的な疾患をもつ子ども、障がいをもつ子ども、虐待を受けている／受けた子ども等、大学院生の実践経験や研究テーマに合わせた内容とする。<br>3) 我が国における小児保健・小児看護の課題を明確化する為に、「社会におけるサポートシステムの動向」「子どもの健康レベルに応じたサポートシステム」およびそれらにおける看護の役割・活動に関して知識を深める。<br>4) 本授業は、「小児看護学演習」の基盤となる科目である。 |                           |      |    |  |
| 4    | 緩和ケア特論   | (水曜日) 5限<br>16:15 ~ 17:45 | 前学期  | 2  | 岩崎 紀久子                                     |
| 授業内容 | 緩和ケアで必要とされる考え方、緩和ケアの発展の歴史、緩和ケアに関わる政策の概要について理解を深める。また、緩和ケアを受けるがん患者が体験している苦痛について、身体的苦痛のみならず、精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペインとして全人的に捉え、QOLの維持・向上にむけた看護専門職としての介入方法について学修する。緩和ケアを実践するために必要な理論や概念について探求するとともに、実践および研究への適応について検討する。さらに、様々な療養環境におかれているがん患者への看護援助方法について検討し、緩和ケアを必要とする患者・家族の生と死を支えるためのケアについて学修する。  |                           |      |    |  |
| 5    | 保健医療福祉学特論  | (水曜日) 6限<br>17:50 ~ 19:20 | 前学期  | 2  | 渡邊 多恵子、小川 純子<br>坂井 志織、篠原 良子<br>永田 文子、長坂 育代 |
| 授業内容 | 社会産業構造の変化や高度情報社会の進展、少子高齢社会の到来にともなう生活環境の変化により、保健、医療、福祉関係領域において、従来の方法のみでは十分な対応が困難になりつつある。各々の学問領域からのアプローチのみならず、柔軟性に富んだ根拠に基づく対応が求められている。本講では、需要側のニーズをその生活に根ざしてとらえ、包括的に支援するための保健医療福祉システムと、サービス利用者や地域住民を中心とした支援体制の構築に向けた研究や実践を題材としたディスカッションを行う。  |                           |      |    |  |
| 6    | 看護管理学特論  | (土曜日) 1限<br>9:00 ~ 10:30  | 前学期  | 2  | 茂野 香おる                                     |
| 授業内容 | 看護管理学における基本的概念・理論について体系的に学びを深め、「管理学」と「看護管理学」の共通性と相違点について理解する。さらに看護専門職としての使命と倫理的責任を果たすことのできる知識・技術・態度の統合した「看護管理者」であるために、動的・複雑系のあらゆる現場における看護管理をより広く、深く理解し、各自の実践を元に実学としての探求、学び方とする(経験学習・現場学習)。本看護管理学の独自性として、特に看護におけるナレッジマネジメントについて検討し「看護という知」の特徴を踏まえ、看護の概念化と管理行動との関係が品質や生産性に及ぼす影響等について学ぶ。  |                           |      |    |  |

## 2024年度 淑徳大学 大学院看護学研究科 科目等履修生用開講科目一覧

### 【後学期】

| No.  | 科目名  | 開講曜日・時間                   | 開講時期 | 単位 | 担当教員             |
|------|--|---------------------------|------|----|------------------|
| 1    | 小児看護学演習  | (月曜日) 7限<br>19:25 ~ 20:55 | 後学期  | 2  | 小川 純子            |
| 授業内容 | 1) 本授業は、「小児看護学特論」で学んだ知識を基に実践で活用できるスキルを獲得し、小児看護学に関わる看護専門職として、また研究者としての自身の課題の明確化を図り、特別研究に向けた研究疑問を決定する科目である。<br>2) ロールプレイを通して、リフレクションとコミュニケーションに関して学ぶ<br>3) 子どもと家族をアセスメントするために必要な評価ツールについて講義と演習にて学ぶ。<br>4) 看護教員と、小児科看護専門看護師による講義により、高度実践看護師の役割について学ぶ。<br>5) 自身の研究疑問に関連した場において高度実践看護師や他職種の見学実習を行う。 |                           |      |    |                  |
| 2    | 成人看護学演習  | (火曜日) 6限<br>17:50 ~ 19:20 | 後学期  | 2  | 岩崎 紀久子<br>佐佐木 智絵 |
| 授業内容 | 成人・初老期を対象者とした臨床療養の場において看護実践するにあたって、看護職が多職種連携の中でケアをおこなっていくために、エビデンスを構築していくための理論や方法についての理解を深める。成人期に特有な健康問題を有する対象者や家族の予防的ケア確立に向けて、また健康問題を抱えて生活していく対象者のためのケア介入を構築していくための看護援助方法について探求する。  |                           |      |    |                  |
| 3    | 公衆衛生看護学演習  | (金曜日) 6限<br>17:50 ~ 19:20 | 後学期  | 2  | 渡邊 多恵子           |
| 授業内容 | 「研究的問い」を設定し、関連する要因や課題解決の方法に関する文献検索を行い、既に明らかになっている点、まだ不十分な点などを整理し、研究計画書を作成し発表する。  |                           |      |    |                  |
| 4    | 看護管理学演習  | (土曜日) 1限<br>9:00 ~ 10:30  | 後学期  | 2  | 茂野 香おる           |
| 授業内容 | 大きく変化していく社会の中で、看護が必要なあらゆる場所や場面において良質な看護の提供を可能にするための効果的・効率的な看護管理のあり方と方略について学び合う。<br>各自の研究テーマに関連付けて、発生している具体的問題事象を通して検討を深める。<br>演習ではこれらの看護管理に関する知識・技術・態度の統合を図り、変化する地域社会の要請に応えられる専門職をめざす。   |                           |      |    |                  |

- ・年間2科目4単位まで履修が可能です。
- ・開講曜日・時間は履修者確定後、変更になる場合があります。
- ・前学期は4月8日(月)から授業開始 15回の授業回数です。
- ・後学期は9月16日(月)から授業開始 15回の授業回数です。